

Jリーグと図書館の連携が地域にもたらすもの ～ビジネス支援と地域活性化の関係性～



鳥取県立図書館 小林隆志

クラブチームと図書館の連携事始め

平成21年

川崎フロンターレと川崎市立図書館の連携スタート
「川崎フロンターレと一緒に本を読もうvol.1」
小学校で読み聞かせ
翌年、紙芝居の共同製作

平成22年

愛媛FCと愛媛県立図書館の連携スタート
草津町立図書館を巻き込んで、**温泉ダービー**を実施

図書館海援隊って、何？

平成22年1月、有志の図書館が「図書館海援隊」を結成し、ハローワーク等関係部局と連携した貧困・困窮者支援をはじめ『**具体的な地域の課題解決**』に資する取組をより本格的に開始。その後、この取組に対し、他の図書館からも参加希望が寄せられ、それに伴って、医療・健康、福祉、法務等に関する役立つ支援・情報の提供やJリーグと連携した取組など、分野も拡大されました。参加館数は、平成24年4月4日現在で**49館**となっています。

神代コーディネーターはその生みの親

図書館海援隊サッカー部って何？

地域活性化を重要なテーマに
クラブチームとの連携を視野に、地域活性化をすすめたい

有志のメンバー5人で、文部科学省にお願い
図書館海援隊のメンバー中心
天野、舟田、船見、祖父江、小林

我々の活動を認知して欲しい
Jリーグとの連携の仲立ちをお願い

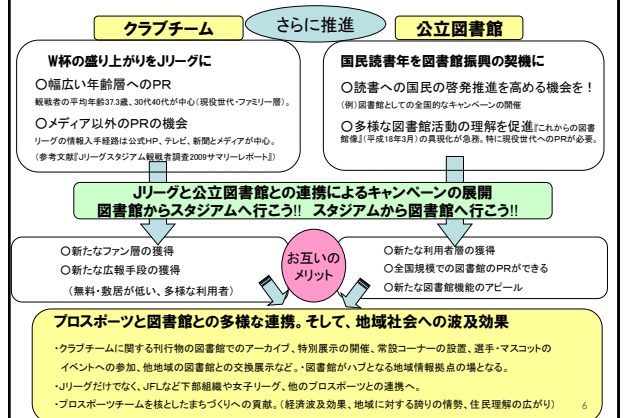
文部科学省のHPに 海援隊サッカー部が登場

平成22年11月、秋の読書週間で私たちの活動を総合して
文部科学省からプレスリリース

『有志の公立図書館が結成した「図書館海援隊」の参加館を中心とする全国各地の有志の公共図書館と、Jリーグのクラブチーム等との連携事業が全国的な規模で開始されましたので、情報提供します。』

googleで、『図書館からスタジアム』で検索
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/11/1299313.htm

スポーツ(クラブチーム)と図書館の連携の概念図



図書館総合展と 図書館海援隊サッカー部の歩み

平成22年図書館海援隊サッカー部を設立 第12回図書館総合展に出展



日本最大の図書館イベント 第12回 図書館総合展（平成22年）にて・・・



平成23年 図書館総合展の 出展風景



昨年の、第13回 図書館総合展後の交流会後に決意



そして、今日・・・

これって何の数字

33 / 40

● 13

J 1 では・・・

- ・ サンフレッチェ広島・・・広島県立図書館、広島市立図書館
- ・ ベガルタ仙台・・・仙台市泉図書館
- ・ 浦和レッズ・・・さいたま市立東浦和図書館
- ・ サガン鳥栖・・・佐賀県立図書館、鳥栖市立図書館、小郡市立図書館
基山町立図書館、娘野市立図書館他
- ・ 柏レイソル・・・柏市立図書館
- ・ 清水エスパルス・・・静岡県立中央図書館
- ・ 横浜F・マリノス・・・横浜市立図書館
- ・ 川崎フロンターレ・・・川崎市立図書館
- ・ F C 東京・・・調布市立図書館
- ・ ジュビロ磐田・・・静岡県立中央図書館
- ・ 鹿島アントラーズ・・・浦安市立図書館
- ・ 大宮アルディージャ・・・さいたま市立大宮図書館
- ・ ヴィッセル神戸・・・神戸市立図書館
- ・ ガンバ大阪・・・吹田市立図書館
- ・ アルビレックス新潟・・・新潟市立図書館
- ・ コンサドーレ札幌・・・北海道立図書館
- ・ (セレッソ大阪、名古屋グランパス)

● 14

J 2 では・・・

- ・ ヴァンフォーレ甲府・・・山梨県立図書館
- ・ ジェフユナイテッド千葉・・・市原市立図書館
- ・ 大分トリニータ・・・宇佐市民図書館、別府市立図書館、別府大学附属図書館他
- ・ ファジアーノ岡山・・・岡山東立図書館、津山市立図書館
- ・ ギラヴァンツ北九州・・・北九州市立図書館
- ・ モンテディオ山形・・・上山市立図書館
- ・ 栃木 S C・・・宇都宮市立東図書館
- ・ 松本山雅 F C・・・松本市立図書館、塩尻市立図書館、安曇野市立図書館
朝日村立図書館
- ・ 水戸ホーリーホック・・・茨城県立図書館、水戸市立図書館
- ・ ロアッソ熊本・・・くもと市立森都心プラザ図書館、菊陽町図書館
- ・ 徳島ヴォルティス・・・徳島県立図書館
- ・ 愛媛 F C・・・愛媛県立図書館
- ・ ザスパ草津・・・草津町立図書館、前橋子ども図書館
- ・ アビスパ福岡・・・福岡市総合図書館
- ・ ガイナーレ鳥取・・・鳥取県立図書館他県内公共図書館・学校図書館 5 0 館以上
- ・ F C 岐阜・・・岐阜県立図書館、岐阜市立図書館分館
- ・ F C 町田ゼルビア・・・町田市立図書館

● 15

(カターレ富山、京都サンガFC、湘南ベルマーレ、横浜FC、東京ヴェルディ)

他のスポーツ（等）では

- ・ 綾てるは図書館は、キャンプにやってくるチームと連携
- ・ 長崎市立図書館は、V.ファーレン長崎と連携
- ・ 宮崎県立図書館、宮崎市立図書館
宮崎市立佐土原図書館では、ホンダロックと連携
- ・ 津山市立図書館では、湯郷ベルと連携
- ・ 宇都宮東図書館と奈良県立図書館が
地元のプロ自転車チームと連携
- ・ 四国の4県立図書館・三重県立図書館と
四国アイランドリーグplus
- ・ 島根県立図書館と島根スサノオマジックと連携
- ・ 秋田県（図書館）と秋田ノーザンハビネッツと連携
- ・ 広島市立図書館では、広島3大プロコーナーを常設
- ・ きっと、もっとあると思いますが・・・

● 16

何を実現しようと思っているのか

その① 読書振興と図書館振興⇔選手の魅力を発信

互いの施設が抱えるお客様は、客層が異なるのでは、それぞれの、お客様に新たな魅力をアピール

選手お勧めの本をコメント入りで、紹介してもらい
パンフレットを作成

スタジアムや公共図書館、学校図書館で配布
→本と図書館と選手の魅力を発信

テーマ→『図書館からスタジアムへ スタジアムから図書館へ』の由来

● 17

『本』をキーにクラブチームと読書推進



『ガイナーレ鳥取と一緒に
本を読もう!!』キャンペーン



何を実現しようと思っているのか

その② 地域振興・経済の活性化に貢献

互いのチームの地域を紹介する交換展示

サッカーを観戦して帰るだけではなく、
地域の観光する人が現われれば・・・

スポーツって裾野の広い産業ということを実感
スポーツの活性化＝地域の産業の活性化
(図書館で行っているビジネス支援という考え方にフィット)

●

● 19



何を実現しようと思っているのか

③チームの歴史を後世に伝えること＝アーカイブ

ポスター、マッチデブプログラム
サポーターが配布した応援ペーパー
チームのユニフォーム等のグッズも

さらに、サッカーミュージアムレファレンスルームとの連携も
サッカー関連図書2,000点、各種大会関連資料4,500点を含む約20,000点を収蔵。

●

● 21



● 鳥取県立図書館内に掲げられた絶対残留の断幕 ●

チームが存続していくということ

- ガイナーレ鳥取の降格の危機に直面して考えたこと

チームを消滅させない
地域が育っているかどうかが問われるということ

百年続くチームを支える地域づくり＝百年構想

●

● 23

個々の連携こそ大切

私たちは、金太郎飴の事業を行おうとしているのではありません。それぞれの地域の事情とそれぞれのチーム・図書館の事情の中で、地域振興という目標のもと、できることを積み上げていって成果をあげていくこと・・・

本日、お集まりいただいています皆さんにも、最寄りの図書館と最寄りのチームがあると思います。その連携の中に加わって支えていただけたらと思います。

『Facebook・twitter＝図書館海援隊サッカー部』で情報発信
図書館海援隊サッカー部への入部のお誘い

●

● 24

能田達規氏から我々の活動にプレゼント



エンブレム



ロゴ



館内展示風景



読み聞かせ風景

●25

ご清聴ありがとうございました!!

感謝!!

ご質問のある方は遠慮なくお尋ねください

鳥取県立図書館 支援協力課

課長 小林 隆志

電話：0857-26-8155

FAX:0857-22-2996

E-mail：kobayashi_t@pref.tottori.jp



..